



2012年4月20日

各 位

会 社 名	キョーリン製薬ホールディングス株式会社
代 表 者 名	代 表 取 締 役 社 長 山 下 正 弘 (コード番号 4569 東証第1部)
問 合 せ 先	コーポレートコミュニケーション統轄部長 宮木 修次
電 話	03-3293-3414

### 緑内障・高眼圧症治療剤『アイファガン®点眼液 0.1%』の新発売について

当社の子会社である杏林製薬株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：平井敬二）が、米国アラガン社より導入した緑内障治療点眼薬「アルファガンP」につきまして、導出先である千寿製薬株式会社（本社：大阪府中央区、代表取締役社長：吉田有宏）は『アイファガン®点眼液 0.1%』（一般名：ブリモニジン酒石酸塩）の製品名で、5月11日に新発売することになりました。

本剤は、杏林製薬(株)が自社で創製した「ガチフロキサシン点眼液」を2000年8月にアラガン社に導出した際、クロスライセンスとして獲得した製品であり、2004年に千寿製薬(株)にサブライセンスし、開発権及び販売権を供与しています。

ブリモニジン酒石酸塩は、アラガン社において開発されたアドレナリン $\alpha_2$ 受容体に高い選択性を示す新規の眼圧下降薬であり、房水産生を抑制するとともに、ぶどう膜強膜流出路を介した房水流出を促進し、眼圧下降効果を示します。このブリモニジン酒石酸塩の点眼剤は、1996年に米国にて「開放隅角緑内障又は高眼圧症」を適応症として承認され、米国を始めとする84の国と地域で承認を取得し、広く医療現場で使用されています（2011年9月現在）。

今回承認された『アイファガン®点眼液 0.1%』は、国内臨床試験において原発開放隅角緑内障（広義）に対して単薬治療あるいは他の緑内障治療薬との併用治療により、長期にわたって安定した眼圧下降効果を示しました。

緑内障は「視神経と視野に特徴的変化を有し、通常、眼圧を十分に下降させることにより視神経障害を改善もしくは抑制しうる眼の機能的構造的異常を特徴とする疾患」であり、エビデンスに基づく唯一の治療方法は眼圧の下降のみで、いったん失われた視野は元にもどらないため、生涯にわたり継続的に眼圧をコントロールすることが重要とされています。このため、薬剤の選択では、十分な眼圧下降効果と持続性および安全性の高い点眼剤が求められています。

当社グループは人々の健康に貢献するという企業理念を掲げており、この度の『アイファガン®点眼液 0.1%』が提供されることで、眼科医療と患者さんのQOL向上に一層貢献できるものと期待いたします。

なお、杏林製薬(株)は千寿製薬(株)の売上高に対し一定比率のロイヤリティを受け取ります。

以 上

参考情報

『アイファガン®点眼液 0.1%』製品概要

製 品 名 : 『アイファガン®点眼液 0.1%』 (一般名 : ブリモニジン酒石酸塩)  
薬 効 分 類 : 緑内障、高眼圧症治療剤  
効 能 ・ 効 果 : 次の疾患で、他の緑内障治療薬が効果不十分又は使用できない場合 :  
緑内障、高眼圧症  
用 法 ・ 用 量 : 通常、1回1滴、1日2回点眼する  
承 認 年 月 日 : 2012年1月18日  
薬 価 収 載 日 : 2012年4月17日  
薬 価 : アイファガン®点眼液0.1% : 1mL 438.20円

千寿製薬株式会社 (Senju Pharmaceutical Co., Ltd.)

設 立 : 1947年4月  
資 本 金 : 14億1,550万円  
代 表 者 : 代表取締役社長 吉田 有宏 (よしだ ゆうこう)  
本 社 所 在 地 : 〒541-0046 大阪府大阪市中央区平野町二丁目5番8号  
従 業 員 数 : 779名 (2012年3月31日現在)  
事 業 内 容 : 医療用・一般用医薬品およびコンタクトレンズ用剤の製造・販売

杏林製薬株式会社 (KYORIN Pharmaceutical Co., Ltd.)

設 立 : 1923年12月  
資 本 金 : 43億1,700万円  
代 表 者 : 代表取締役社長 平井 敬二 (ひらい けいじ)  
本 社 所 在 地 : 〒101-8311 東京都千代田区神田駿河台二丁目5番地  
従 業 員 数 : 1,804名 (2011年3月31日現在)  
事 業 内 容 : 医薬品の製造販売